# 1ドルPRESS

163号
Jun.
2025年

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。この1ドルPRESSは、当館のホールオルガニスト・インターン生とホールスタッフが発信しています。この5月から、ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラムは21期の2人が活動を始めました。（2人の紹介は裏面をご覧ください！）皆さまがよりオルガンに興味を持っていただけるような記事を、これからもお届けしてまいります。どうぞご期待ください！



## 本日の出演者 坂戸真美さんへインタビュー



■本日のコンサートで注目してほしいポイントを教えてください！
今回のプログラムは、19世紀後半～20世紀前半のフランスオルガン音楽を集めました。芸術が大きく花開き、未来への夢があふれる、パリが最も輝いた時代のオルガン曲を演奏いたします。その時代にフランスで製作された数々の素晴らしい大オルガンの響きを想像しながら、お聴きいただければ幸いです。

写真：パリ、サン・シュルピス教会の歴史的オルガン
（1862年カヴァイエ＝コル製）を弾く坂戸真美

■現在のマイブームは何ですか？
季節を感じながら、散歩をすることが好きです。横浜や鎌倉などを歩くのも大好きですが、知らない街を散策し、初めて出会う風景を楽しんでいます。

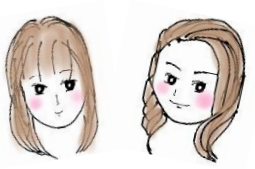
■ご来場のお客様へメッセージをお願いします。
パイプオルガン“ルーシーの”美しく魅力的な響きをご堪能ください！
1本1本のパイプに送った風が皆様の心に届き、幸せなひとときとなりますように！



## ― インターンシップ21期 尾崎麻衣子の『ドイツ オルガン紀行』Vol. 1 ―



ヨーロッパには、名器と呼べる素晴らしいオルガンが無数にあります。度重なる改修を経て何世紀も受け継がれてきた遺産です。今回は私が一番好きな、オランダ北部・フローニンゲンにあるマルティーニ教会の1692年アルプ・シュニットガーにより改修されたオルガンをご紹介します。まずこのオルガンを目前にすると、その偉大さと荘厳さに圧倒され、見た目の美しさに魅了されます。シュニットガーのオルガンは北ドイツやオランダに多数現存し、リード管とペダルの豊富さが特徴で、ディートリッヒ・ブクステフーデなどの「北ドイツオルガン楽派」の作品に大きな影響を与えました。各リード管は非常に個性があり、他のフルー管も一つ一つのパイプの音色がクリアで美しく、その輝かしい響き全体を支えるのに十分なペダルも大変深く力強く、この地で生まれた作品とオルガンの深い結びつきを感じました。一般の方でも参加できるワークショップも開催されており、この名器を誰でも身近に感じることができます。北ドイツ・ノルデンのルドゲリ教会や、ハンブルクの聖ヤコビ教会のシュニットガーオルガンも大変素晴らしいです。北ドイツを訪れる機会があれば、世界自然遺産のワッデン海にも足を伸ばしてみるのがオススメです！その様子については8月のブログに掲載しますので、そちらもぜひご覧ください！



左:新田　右:尾崎
イラスト:新田朝香

ホールオルガニスト・インターンシップ・プログラム第 21 期生

# 尾崎麻衣子と新田朝香の自己紹介

尾崎(以下:お)　初めまして、尾崎麻衣子です！よろしくお願いします。

新田(以下:に)　初めまして、新田朝香です！こちらこそよろしくお願いします。
早速ですが…尾崎さんはどのようなきっかけでオルガンと出会ったのですか？

お　私は、以前航空管制官として働いていたのですが、偶然職場の近くに大きなパイプオルガンを備えたホールがあり、そこのオルガンスクールに行ったことが最初のきっかけです。

に　航空管制官からオルガニストへ…！大変大きな決断をしたのですね。

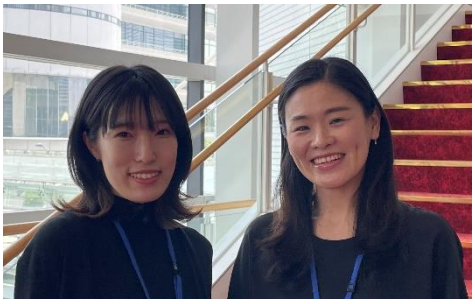
お　そうなんです。新田さんはどのようなきっかけでオルガンと出会ったのですか？

に　私は小学生の頃から家族でオルガンの演奏会に出向き、様々な大オルガンの演奏を聴く機会が多く、憧れの楽器というイメージが徐々に生まれていきました。実は、こちらのホールオルガニストでいらっしゃる近藤岳先生のリサイタルを小学生の頃に拝聴しております！

お　まさに近藤先生の「長期ファン」ですね！(笑)　新田さんはいつオルガン専攻に進んだのですか？

に　私は国立音楽大学の附属小学校から中学校までピアノを専攻していたのですが、附属高校に進む際、オルガン専攻に転向しました。その後大学院に進み、今年の春に修了しました。尾崎さんはオルガンスクールでオルガンを学んだ後、どのように勉強を続けたのですか？

お　私はその後、東京藝術大学に入学し、大学院へ進み、そしてドイツのマインツ音楽大学でもオルガンを勉強しました。偉大な恩師である廣野嗣雄先生に出会ったことがきっかけで東京藝術大学へ進学することになり、そこから私の人生は大きく変わりました！



５月に大ホールのホワイエで！
左から　21期生の新田朝香・尾崎麻衣子

に　尾崎さんはドイツへの留学経験もあるのですね！
…最後になりますが、私は１人でオーケストラのような音色を奏でられるところがオルガンの魅力だと感じますが、尾崎さんにとって、オルガンの魅力とは、一言でいうとどのようなところでしょうか。

お　全てのオルガンが異なるので、私はとても素晴らしい音色のオルガンに出会うと、嬉しくて永遠に弾いていたくなります！そんなところが魅力だと感じます。

ありがとうございました！ふたりの活動はブログなどでもご紹介していきます。
来年４月までの活動の様子を温かく見守ってくださいね。

ブログは
こちらから▶

## ～オルガン公演のご案内～



世界で活躍する指揮者、阿部加奈子。オーケストラとオルガンを堪能するスペシャルな公演！！

**新作オルガン協奏曲特別演奏会　～オルガン“LUCY”プロジェクト**

**出演:阿部加奈子(作曲・指揮)　神奈川フィルハーモニー管弦楽団　近藤　岳(オルガン)**

**11 月 1 日(土) 14:00 開演(13:20 開場)大ホール**

演奏曲　サン=サーンス:交響曲第 3 番　ハ短調「オルガン付」
阿部加奈子:《風の睦(むつ)び～オルガンとオーケストラのための 3 章》＊世界初演(横浜みなとみらいホール委嘱作品)
ドビュッシー:交響詩《海》

全席指定　S 席:7,000 円　A 席:5,000 円　大学生、障がい者手帳をお持ちの方*:4,000 円
高校生以下:3,500 円　★小学生から 18 歳以下の方　無料ご招待！(限定枚数)

公演情報は
こちらから▶

チケット発売　■インターネット先行:7 月 8 日(火)　■一般発売:7 月 12 日(土)10:00

■お問合せ■　横浜みなとみらいホールチケットセンター　045-682-2000
電話予約 10:00～17:00　　窓口販売 11:00～19:00
6 月・7 月の休館・施設点検に伴う休業日　6 月23 日(月)、7 月 7 日(月)・14 日(月)